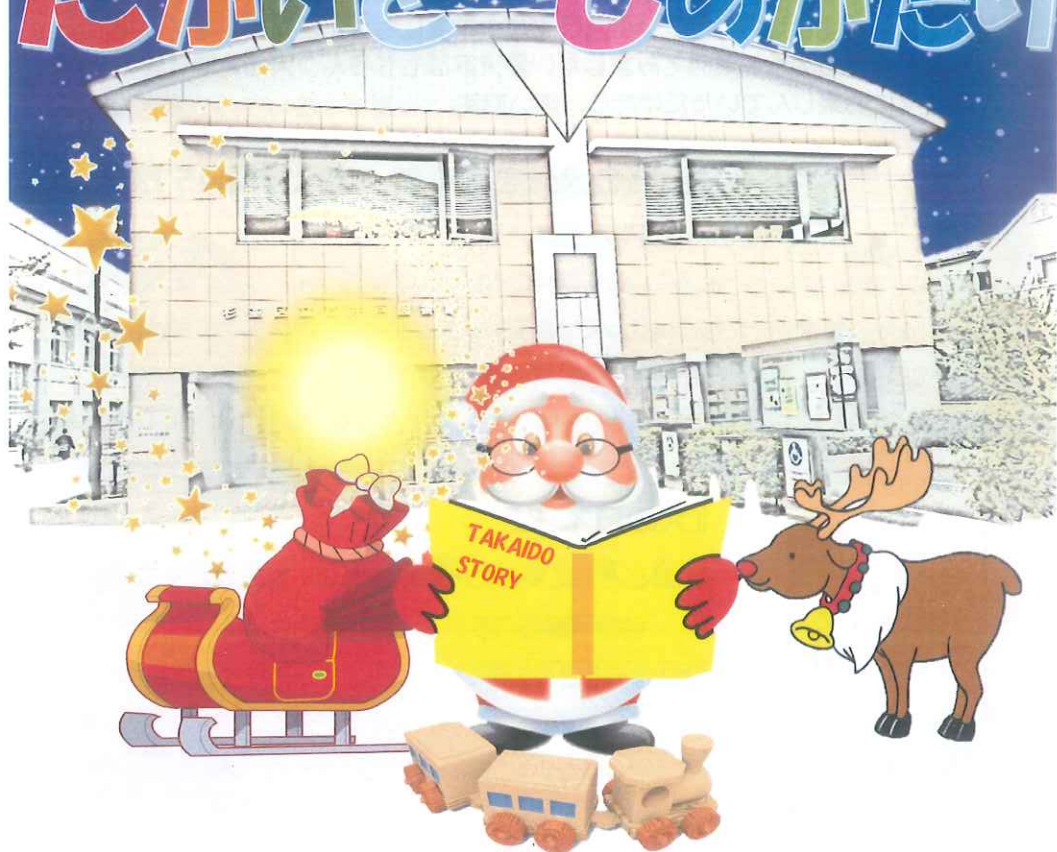


高井戸図書館だより

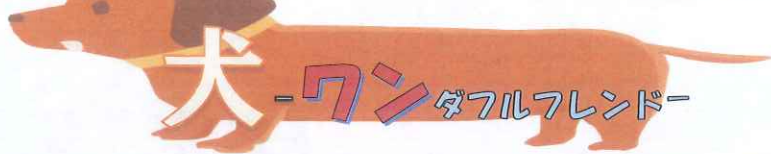
たかいとものがたい



エントランス展示	P.2
階段上の展示	P.3
階段下の展示・ミニギャラリー	P.4
新聞書評に載った本・新刊案内	P.5
図書館からのお知らせ	P.6・P.7
高井戸図書館カレンダー	P.8

2017年

12月



早いものでもう師走。年の瀬を迎え、年賀状の用意など、来年を意識する機会が増えてまいりました。そこで、今月は来年の干支にちなんだ「犬」をテーマに、様々なジャンルの本を集めてみました。愛犬家はもちろん、犬とさほど縁のなかった方々にも楽しんでいただけたら、幸いです。

『全国の犬像をめぐる 忠犬物語 45 話』

青柳 健二／著 青弓社

全国に点在する 45 もの犬像のプロフィールを、豊富な写真と共に紹介しています。伝説・読み物・実話など出自は様々ですが、像となるからにはその多くに犬と人との深い愛の物語が刻まれており、心惹かれます。犬像に会いに行きたくなりますよ。



『犬の日本史』

一人間とともに歩んだ一万年の物語 読みなおす日本史一

谷口 研語／著 吉川弘文館

日本人は犬とどのように付き合いしてきたのでしょうか。縄文時代から近現代までの日本社会と犬との関係史を通観できる本書。引用されている古典文学の抜粋や史料なども、興味深く読めます。



『柴犬まるの幸福論』

小川 仁志／監修 小野 慎二郎／写真

リベラル社

柴犬まるの写真と共に、世界三大幸福論の一つとされるアランの「幸福論」の断章が紹介されています。ままならない世の中であって、幸福でありたいと願う私たちに役立つ普遍的なヒントが、可愛いまるに導かれるように、ずっと心に入ってきます。



歡喜の歌

-ベートーベンと交響曲第9番-

毎年年末になるとあちら、こちらで第九の演奏会が開かれています。もはや年中行事の一つとなった「ベートーベンの交響曲第九番」はなぜ日本人に受け入れられていったのでしょうか。「歡喜の歌」の生い立ちや、エピソードの本やベートーベンについて書かれている本を集めてみました。

『第九 歡喜のカンタービレ』

ネット武蔵野

第九の豆知識満載の本です。歡喜の歌の原詩シラーについての解説。また、どのように日本に浸透していったか、この一冊でも充分「歡喜の歌」の事がわかります。DVD付きです。



『<第九>と日本人』

鈴木 淑弘／著 春秋社

これほど他の国では類をみないほど演奏会が多いベートーベンの交響曲第九番。なぜこれほど日本人は第九が好きなのか？そして国民参加型となった「歡喜の歌」のルーツをたどります。

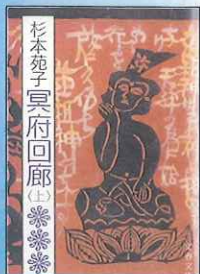


歡喜の歌の詩

フリードリヒ・フォン・シラーの「自由賛歌」の詩をフランス革命直後、ラ・マルセイエーズの詩として歌われているのを聞き、シラーが詩を書き直し「歡喜に寄せて」としました。それに感動してベートーベンが手を加えて「歡喜の歌」が誕生したと言われています。

感動をありがとう

2017年もあと少しとなりました。この一年に亡くなられた作家の方を中心に追悼特集し関連書籍の展示を行います。たくさんの感動をありがとうございました。



『冥府回廊』上・下

杉本 苑子/著 文芸春秋 (文庫)

福沢諭吉の娘房子とその夫で実業家の福沢桃介を中心に、川上音二郎、貞奴^{さだやっこ}らを初めとする波瀾万丈の人間模様。明治時代を舞台にした、NHK大河ドラマ『春の波濤』の原作。

ミニギャラリー

(2階のホールわぎ)

『紙粘土アート』展示

制作者：高久 明

紙粘土で作っためずらしい絵画です。

高井戸図書館ミニギャラリーは地域住民の趣味、特技、生涯学習で学んだ事柄の発表の場です。人の輪を広げ、図書館が交流スペースになることを目的としています。随時募集をしているので、お気軽にスタッフまでお声がけください。

新聞書評に載った本



貸出中の場合は、予約をすることができます。
カウンターへお気軽にお申し付けください。



『世界をまどわせた地図』-伝説と誤解が生んだ冒険の物語-

- エドワード・ブルック=ヒッチング著

関谷 冬華訳、井田 仁康/日本語版監修

日経ナショナルジオグラフィック社

この本の地図は架空の地図を集めた本です。しかし、かつては存在するとまで思われていました。神話や伝承、そして探検家の思い違いなど、またお金もうけのため作られた地図は美しく、嘘とわかっていても夢を追い求めてしまいます。アトランティス、エルドラド架空だとわかっていても、存在してほしいものです。

新刊案内



ほぼ毎週、火曜日と金曜日に新刊が入ってきます

こちらも貸出中の場合は、ご予約ください。

『本棚の本』 赤澤 かおり/著 KTC 中央出版

■なぜか友人の本棚が気になる子どもだった著者が始めたのは、それぞれ生業をもつ知人の本棚を訪ね歩く企画でした。約束事は「事前に整理しない」「愛読書を10冊程度と、おやつやお茶を紹介すること」。19組の本棚から浮かび上がる人生とは？



『これで眠くならない!能の名曲60選』

中村 雅之/著 誠文堂新光社 ■能に興味はあるけれど、難し

そうで、敷居が高い!と尻込みしている方に。横浜能楽堂館長である著者が「眠くならない指数」などのユニークな切り口で能の世界に誘います。まずは気軽に楽しんでみたくなる一冊です。



図書館からのお知らせ

- イベントのお申し込みは、お電話かカウンターで受付けています。
- 会場は2階のホール。開場は開始時間の30分前です。
- 詳しくは、館内ポスター・図書館ホームページで確認できます。

『親子おりがみ教室「いぬとこま」』

日 時 12月10日(日) 午後2時～3時
講 師 藤本 祐子さん
対 象 ※大人の一人参加も可
申込み 11月20日(月) から 定 員 18組

クリスマスお楽しみ会

『ベルスターズのクリスマスがやってきた!』

日 時 12月17日(日) 午後2時～3時
出 演 ハンドベルシスターズ
対 象 幼児
申込み 11月18日(土) から 定 員 30組

満員御礼

DEF GHI JK L
C B
A
Z
Y X W V U T S R Q

英語を楽しむ会

追加募集

時間: 10時30分～11時30分
定員: 若干名
第2・第4月曜日に開催予定 詳しくは高井戸図書館へ

『発達障がいのお子さんに良い英語フォニックス指導法』

日 時 1月14日(日) 午前10時～11時
講 師 榛谷 都さん
対 象 大人 申込み 1月5日(金) から

『世界のことばで楽しむ 手遊びと絵本よみきかせ』

日 時 1月27日(土) 午後2時～2時45分
共 催 ヒッポファミリークラブ・高井戸図書館
対 象 未就学児とその保護者
申込み 1月5日(金) から 定 員 30組

高井戸図書館2018お楽しみ企画

新春「本の福袋」

図書館員が、様々なテーマでおススメ本を選びました。袋の中身が見えないので、どんな本が入っているかは開けてからの楽しみ! 今年も、本とのステキな出会いがありますように。

日 時 1月5日(金) 午前9時から
場 所 1階入口付近 特設展示コーナー
個 数 一般向け 約30袋
児童向け 約20袋 対 象 どなたでも



【年末年始休館のお知らせ!】

杉並区立図書館は12月31日(日)～1月4日(木)まで休館となります。図書館ホームページからのリクエストは通常どおり受け付けています。

高井戸図書館カレンダー 12月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ♠
3	4 休館日	5	6 ♥♠	7	8	9
10 ★	11	12	13 ♥♠	14	15	16 ♠
17 ★	18	19	20 ♥♠	21 休館日	22	23
24	25	26	27 ♥♠	28	29	30 ♠
31 休館日	29日・30日は5時閉館です。					

<p>■ 閉館時間</p> <p>月曜～土曜 午前9時～午後8時 日曜・祝日 午前9時～午後5時</p>
<p>■ 休館日</p> <p>第1月曜と第3木曜 ※祝日と重なった時は翌日が休館</p>
<p>■ 催し物</p> <p>♠ おはなし会 午後3時30分～午後4時 ♥ あかちゃんおはなし会 午前11時～午前11時30分 ★ イベント (詳細は中をご覧ください)</p>

<p>■ 2階ホールの使用状況</p> <p style="text-align: center;">閉室</p> <p>【臨時閲覧席】(どなたでもご利用できます)</p> <p>午前9時～午後5時 午前9時～午後8時 午後1時～午後5時 午後1時～午後8時</p> <p>【YA広場】(中高生専用の部屋です)</p> <p style="text-align: center;">放課後～午後7時</p>

<p>たかいど ものがたり 2017年12月 第233号 発行 杉並区立高井戸図書館 〒168-0072 杉並区高井戸東 1-28-1 電話番号 03-3290-3456</p>	<p>ホームページ パソコン版 http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/ 携帯版 http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/m/</p>
---	---